


事業番号	02 06 01	<b>事業改善シート（令和4年度実施事業分）</b>			<input type="checkbox"/> 当初要求	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	バス等振興対策事業費	部局	企画振興部	課・室	交通政策課			
		実施期間	S47 ~	E-mail	kotsu@pref.nagano.lg.jp			
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）								
8つの重点目標	④インバウンド需要を取り込み観光消費額を増加		⑦健康長寿日本一を維持					
総合的に展開する重点政策	3-6 中山間地域での暮らしの価値の再発見		3-7 先端技術の積極的な活用・導入			3-8 生活を支える地域交通の確保		

1 現状と課題

目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>○持続可能な公共交通の構築 <ul style="list-style-type: none"> <li>・広域的、基幹的な地域間幹線バス路線の確保・維持と利便性を向上させる。</li> <li>・市町村、交通事業者等と協働して、地域の実情に即した持続可能な交通体系を構築し、利用者の獲得・定着を図る。</li> </ul> </li> <li>○営業用バス・トラックの輸送サービスの改善、安全運行の確保、環境と共生した安全安心な輸送の確保</li> </ul>	
これまでの取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域間幹線バス路線の確保・維持のため、交通事業者の運行欠損費、車両減価償却費を補助金により支援</li> <li>・持続可能な交通体系の構築に向けた取組として、既存バス路線の現状・課題を診断するカルテを作成</li> <li>・営業用バス・トラックの安全安心な輸送の確保のため、各協会へ助成し支援</li> </ul>	
令和3年度の点検結果・現状分析	課 題	今後の方向性
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域交通は生活の足として重要な役割を担っているところだが、利用者数の減少等により事業者等の収益が悪化しており、継続的な運行に当たって大きな課題となっている。</li> <li>・公共交通は広域圏（生活圏）全体で最適化を図ることが必要であり、市町村が個別で検討するのは非効率的</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活に必要なバス路線の運行を引き続き支援するとともに、利用者増につながる施策も行いながら、公共交通の継続的な運行確保に努める</li> <li>・生活圏を意識した広域的な公共交通網の構築について、県としても最適化につながる取組を支援する</li> </ul>

2 令和4年度事業内容

予算のポイント・主な取組（予定）	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域間幹線系統の確保維持 <ul style="list-style-type: none"> <li>・乗合バス事業者が運行する地域間幹線バス路線の運行欠損費、車両減価償却費を支援</li> <li>・県でバス車両を購入し、地域間幹線バス路線を運行する事業者に貸与することでバス路線を基盤強化</li> </ul> </li> <li>○持続可能で最適な地域公共交通システムの構築 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域公共交通の持続的発展のため、交通事業者・国・市町村等とともに、広域的な公共交通ネットワークの再構築に向けた取組を実施</li> </ul> </li> <li>○公共交通情報のオープンデータ化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通の利用促進のため、バス路線情報をインターネットの経路検索サービス等で検索できるよう交通情報のオープンデータ化を推進</li> </ul> </li> </ul>		県有民営バス車両
DX、ゼロカーボン、共生社会づくり、学びの県づくりに資する取組	<b>【DX】</b> 公共交通情報のオープンデータ化を推進 <b>【ゼロカーボン】</b> 公共交通の利用を促進 <b>【共生社会】</b> 地域間幹線バスのバリアフリー化を通じ共生社会づくりを推進		

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし、—:数値なし]								区分(単位:千円)				
No	成果指標	単位	R1年度	推移	R2年度	推移	R3年度(見込)	R4年度目標値	R2年度	R3年度	R4年度	
1	地域間幹線バスの1日当たり輸送量	人	33.2	↓	23.7		集計中	23.7			要求 712,947	予算案 619,066
2	営業用トラックの交通事故件数	件	161	↑	149		集計中	149				
3	(参考指標) 地域間幹線バス運行事業者の乗合バスへの低床バス導入率	%	79.3	↑	80.2		集計中	—			要求 712,947	予算案 619,066
4											要求 661,879	予算案 569,620
5												
									決算額(B)	886,725		
									職員数(人)	4.0	4.0	4.0

設定理由	成果指標	1. 地域間幹線バスの利用者を維持するため、1日当たり輸送量を成果目標に設定 2. 営業用トラックの安全運行確保のため、交通事故件数を成果目標に設定
	目標値	1. バスの輸送量は減少傾向だがR2年度の実績を維持することを目標に設定 2. R2年度の実績を下回ることを目標に設定

予算要求からの主な変更点	公共交通機関におけるキャッシュレス化推進事業を令和3年度1月補正予算に前倒したこと等により事業費を減額
--------------	---

事業名	バス等振興対策事業費	部局	企画振興部	課・室	交通政策課
-----	------------	----	-------	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	
1	地域間幹線バス路線確保維持費補助金	284,762 千円	301,467 千円	要求 予算案	362,929 271,222 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)		
1	地域間幹線バス路線の運行欠損費に対する補助金	補助金	地域間幹線バス路線の確保・維持を図るため、乗合バス事業者が運行する地域間幹線バス路線の運行欠損費を補助 【補助想定件数 7件(7者 29系統)、補助総額 169,850千円】		
2	地域間幹線バス路線で使用するために購入した車両の減価償却費等に対する補助金	補助金	地域間幹線バスのバリアフリー化、老朽化対策を促進するため、乗合バス事業者が購入した低床バスの減価償却費等を補助 【補助想定件数 2件(2者 16台)、補助総額 19,686千円】		
3	県有民営による幹線バス路線確保対策事業	直接	地域間幹線バス路線の基盤強化を図るため、県がバス車両を購入し、地域間幹線バス路線を運行する乗合バス事業者に貸与 【購入想定台数 3台 購入総額 81,686千円】		

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	
2	運輸事業振興助成補助金	310,177 千円	310,595 千円	要求 予算案	310,595 317,258 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)		
1	運輸事業振興助成補助金	補助金	バス・トラックの安全・安心な輸送の確保を図るため、長野県バス協会・長野県トラック協会が行う輸送サービスの改善や安全運行の確保等の取組に対して助成 【補助想定件数 2件(2者)、補助総額 317,258千円】		

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	
3	公共交通乗換案内サイト構築事業	6,000 千円	3,468 千円	要求 予算案	1,980 1,980 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)		
1	信州ナビを活用したデータ分析事業	委託	データ分析機能を活用しデータを収集、集計するためのサーバー及びGPS情報や操作情報を蓄積するためのストレージを運用		

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	
4	みんなのタクシー利活用促進事業	4,900 千円	3,600 千円	要求 予算案	6,600 6,600 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)		
1	タクシー事業支援総合交付金	補助金	地域の生活を支える公共交通であるタクシーの経営基盤を強化するため、事業者の運転手確保やバリアフリー化のための取組を支援		

事業名	バス等振興対策事業費	部局	企画振興部	課・室	交通政策課
-----	------------	----	-------	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	
5	多角連携型モビリティ・ネットワーク形成事業	737 千円	737 千円	要求 予算案	738 738 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)		
1	多角連携型モビリティ・ネットワーク形成事業	直接	地域交通の課題解消を促進するため、市町村に対してくらしの足の最適化促進の他、観光交通の充実等多様な連携に対する助言等を行うモビリティアドバイザーを派遣		

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	
6	地域公共交通最適化推進事業	4,708 千円	14,157 千円	要求 予算案	24,513 21,268 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)		
1	持続可能で最適な地域公共交通システム構築事業	負担金	地域公共交通の持続的発展のため、交通事業者・国・市町村等とともに、広域的な公共交通ネットワークの再構築に向けた取組を実施		
2	地域公共交通計画策定支援事業	補助金	地域の交通課題の解決に向けた取組が生活圏を意識した区域で着実に進むよう、複数の市町村等で取り組む地域公共交通計画策定に係る費用を支援 【補助想定地域数 2地域】		
3	公共交通情報オープンデータ化推進事業	委託	公共交通の利用促進のため、バス路線情報をインターネットの経路検索サービス等で検索できるよう交通情報のオープンデータ化を推進		